

月刊 社会保険 10

2026 VOL.915

一般社団法人
全国社会保険協会連合会



令和8年熊本地震の災害に伴う雇用調整助成金の特例措置
令和8年8月から高額療養費制度が見直されます
「令和9年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」のご提出
知っていますか？ 年金記録の訂正請求
今日からはじめられる 健康アクション！

社内回覧
などにも
便利!



Web版

今月号はこちらよりご覧になれます▶

<https://www.zensharen.jp/ebook/pl1mz/2610/>



CONTENTS

事業主の皆さまへ 令和8年熊本地震の災害に伴う雇用調整助成金の特例措置を実施します	4
令和8年8月から高額療養費制度が見直されます	6
「令和9年分公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」のご提出をお願いします。	8
知っていますか? 年金記録の訂正請求	10
今日からはじめられる 健康アクション!	12
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員としての役割について 霧島酒造株式会社 取締役 管理本部長 堀之内 宏俊	14
労働法のポイント 第54回 専門業務型裁量労働制 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	16
新たな時代の働き方改革 相手を動かす資料の作り方 第6回 数字とデータで「納得感」を生む 株式会社クロスリバー代表取締役CEO 越川 慎司	18
すべての人への「ニューロダイバーシティ」 第5回 ニューロダイバーシティの学び — 心療内科医・山本晴義さんの取り組みより② — ニューロダイバーシティ研究フォーラム 編	20
食べて元気! 楽しい食事の秘訣 第35回 気になる加齢臭を予防するには 管理栄養士 健康運動指導士 NR・サプリメントアドバイザー 菊池 真由子	22
心と体を守る“セルフケア”最前線 今からできる、最新エビデンス実践法 第18回 「時間がない」が口ぐせになった職場で、起きていること 産業ストレス管理専門家 株式会社けんこう総研 代表 タニカワ久美子	24
ストレス管理専門家の職場訪問 「いつもと違う」を見逃さない ～問い詰めて、話せる時をつくる～ 第3回 女性下着から婦人服、呉服まで扱う地域密着型の衣料専門店 くまじ株式会社 産業ストレス管理専門家・研修講師 タニカワ久美子	26
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 28/年金保険編 30/労働保険編 32 特定社会保険労務士 柳田 恵一 育児介護編 34 特定社会保険労務士・弁理士・一級知的財産管理技能士(コンテンツ・ブランド・特許専門業務) 永田 由美	
知っておきたいやさしい相続の話 ～相続トラブルを防ぐために～ 第6回 遺言の執行 井田司法書士事務所 司法書士 井田 耕一郎	36

表紙写真・青森県 十和田湖畔の紅葉 / イラストレーション・水森亜土 / デザイン・編集協力・(有) フェイム / 印刷・(株) アイネット

社会保険委員としての役割について

霧島酒造株式会社 取締役 管理本部長

堀之内 宏俊



霧島酒造の主力製品



私たちが大切にしている、お酒がある楽しさと当社の本格焼酎やクラフトビールを全国に、世界に広げ、焼酎の新しい未来を創り出す取り組みを続けてまいります。

社内制度について

当社は、6年前に「労働安全推進室」という名称の部署を新設し、社員の労働安全や交通安全、健康管理に関する業務を統括・推進する取り組みを始めました。業務上の危険を体感する施設を使った安全衛生教育や交通安全教育、社員の健康診断・人間ドックの計画・実施・フォローなど、当社独自のルール作りとその運営に当たっています。

また、人事労務の部署では、「プラチナプログラム」と称して、社内セミナー①②を実施しています。①は、55歳から59歳の社員を対象に、公的

地域のご紹介

私たちの会社がある宮崎県都城市は、宮崎県の南西部、霧島連山を望む都城盆地にあります。鹿児島県との県境に位置し、人口約16万人の宮崎県第2のまちです。

都城市は、鎌倉時代に開発された日本最大の荘園「島津荘」の中心地で、島津発祥の地としても知られています。室町時代以降は「都城島津家」(北郷家)が都城盆地を中心に治め、江戸時代に入ると、薩摩藩の私領として独自の行政や経済・産業が発展しました。

現在でも生活習慣や風習、方言など、旧薩摩藩の影響が色濃く残っている地域で、豊かな水と盆地特有の気候もあって農畜産業も盛んで、「日本一の肉と焼酎のまち」と銘打って、ふるさと納税で何度も日本一を獲得しています。肉と焼酎以外にも魅力的な食品や食材、飲料などがたくさん揃っていますので、是非お取り寄せください。また、市内の道の駅「都城NIGHT」(通称ニクル)もリニューアルして、たくさんの方が訪れる観光スポットとして生ま

社会保険委員として

年金・健康保険・雇用保険の仕組みと会社の再雇用制度の仕組みを学び、定年後のライフプランをイメージしてもらう研修で、②は、58歳と59歳の社員を受講必須として、社会保険労務士による個別相談会形式で実施しており、こちらは家族の同席もOKとしています。この個別セミナーでは、具体的な退職金・公的年金の受け取り方やその金額、ねんきんネットの利用方法などの説明を行って、よりリアルな生活計画を立ててもらうことを目的としています。

私は、都城地区社会保険委員会として活動を始めて3年目になります。都城地区社会保険委員会は都城市の他、小林市、えびの市、日南市、串間市を中心に各支部が構成され、日頃から日本年金機構、都城年金事務所の所長・副所長に大変お世話になりながら、社会保険事業の理解向上と発展を目指して活動を行っています。



都城市のふるさと納税ポスター

事業所のご紹介

霧島酒造株式会社は、大正5年(1916年)に都城市で創業した酒類メーカーで、今年で創業110周年を迎えました。

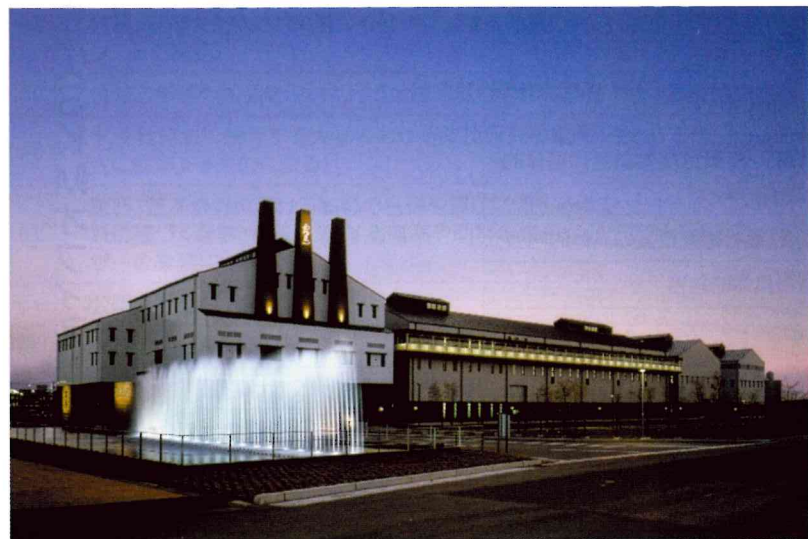
創業家(江夏家)は、江戸時代に中国から戦乱を逃れて、移民として都城の唐人町で庇護された一族の末裔と言われ、以降は医者や商人としてこの地に根付いてきました。江夏家

れ変わりましたので、こちらも是非お立ち寄りください。

また、宮崎県では宮崎県社会保険委員会連合会が組織されており、熊本・鹿児島・宮崎・沖縄の4県が持ち回りで開催する「南九州四県社会保険委員会連合会連絡会議」も毎年開催されています。この連絡会議は、表彰の他、各県連合会の現状や今後についての発表、特別講演などが行われた後に、意見交換会・懇親会も実施されます。昨年は沖縄が開催県で、懇親会の終盤は、出席者全員が「エイサー総踊り状態」になる大変な盛り上がりとなりました。令和8年の第57回連絡会議は、地元宮崎県での開催となりますので、また大勢の皆さんにお集まりいただき、活発な意見交換とおもてなしがご提供できることを願っています。

おわりに

私たちを取り巻く社会・経済の環境は大きく変化し、スピード感も増して、先が読みづらい不安定な時代に突入していると感じます。だからこそ、私たちの生



本社増設工場

の本家は、味噌や醤油、麵つゆなどを醸造して南九州で高いシェアを持つ「ヤマエ食品工業」で、その弟家が営んでいた「川東江夏商店」が霧島酒造のルーツとなります。

昭和8年に焼酎「霧島」の商標を取得し、昭和20年代には杜氏制を廃止して焼酎造りのノウハウを社内に残す取り組みを始め、その後も製造工程の機械化を独自に進めるなど、「他社がやらないことを先駆けてやる」ことを大切に受け継ぎながら事業を継続してきました。

その後も地元を代表する芋焼酎メーカーとして宮崎県では高いシェアを持っていましたが、県外では伸び悩む時期が長く続いていました。そんな中、平成10年(1998年)に発売した芋焼酎「黒霧島」が全国的にヒットし、売上が急拡大しましたが、様々な困難やトラブルに直面しながらも、「皆で全力で走りながら考える」ことで何とか乗り越え、現在を迎えています。

最近では、若者のアルコール離れや飲酒運転など、飲酒に関するマイナス面が強調される場面が多く、コロナ禍の影響もあってアルコール業界全体は逆風に晒されていますが、

活には健康保険・年金制度の重要性が増しているのだということを、若い世代にもしっかりと伝えられればと思います。

最後に、日頃より大変お世話になっている都城年金事務所、協会けんぽの皆様へ感謝をお伝えし、全国社会保険委員の皆様のご活躍ご健勝をお祈りして活動報告とさせていただきます。

(都城地区社会保険委員会代議員)